

＜国内クレジット制度＞ 農林水産分野関連の排出削減事業計画申請状況 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

▶国内クレジット制度における排出削減事業計画申請案件は908件

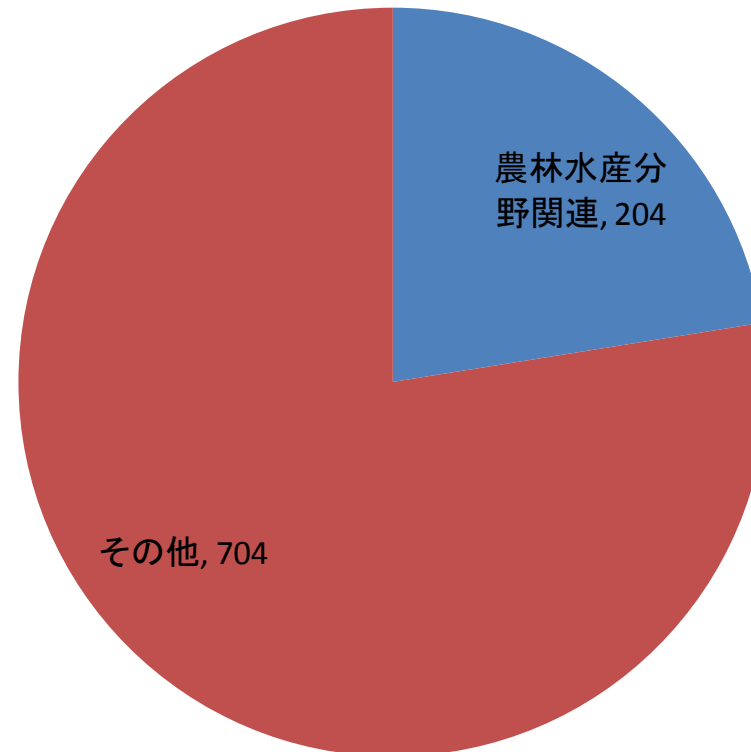
これらの年間削減見込量は、計約37.9万t-CO₂/年で、1件当たりの年間削減見込量は約420t-CO₂/年

▶このうち、農林水産分野関連(農林水産業関係者からの案件及びバイオマスを利用した案件)の排出削減事業計画申請案件は204件※(全体の22%)

これらの年間削減見込量は、計約11.9万t-CO₂/年で、1件当たりの年間削減見込量は約590t-CO₂/年

※ 農林水産業関係者からの申請案件の中にも、バイオマスを利用した案件があるため、農林水産業関係者からの申請案件数(5ページ掲載)とバイオマスを利用した案件数(6ページ掲載)との合計とは一致しない

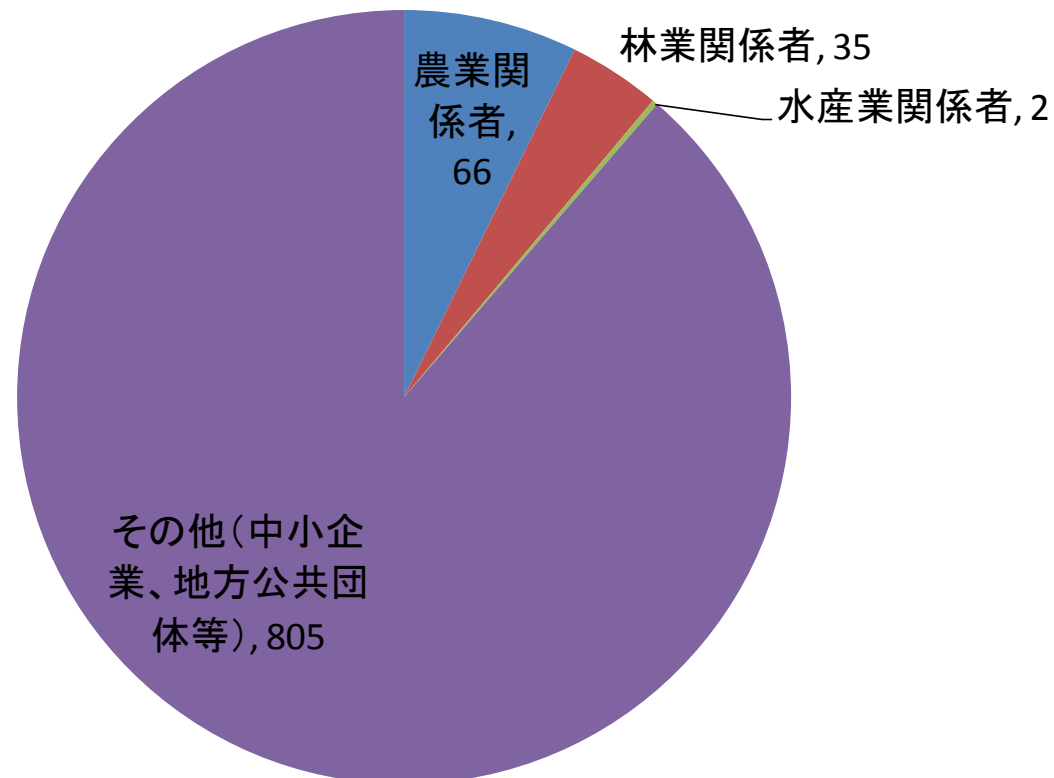
排出削減事業計画申請案件に占める農林水産分野関連の申請状況



<国内クレジット制度> 農林水産業関係者からの排出削減事業計画申請受付案件 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

- 国内クレジット制度における排出削減事業計画申請案件は908件
これらの年間削減見込量は、計約37.9万t-CO₂/年で、1件当たりの年間削減見込量は約420t-CO₂/年
- このうち、農林水産業関係者からの排出削減事業計画申請案件は103件(全体の11%)
これらの年間削減見込量は、計約6.0万t-CO₂/年で、1件当たりの年間削減見込量は約580t-CO₂/年
- このうち、農業関係者からの排出削減事業計画申請案件は66件(全体の7%)
これらの年間削減見込量は、計約2.1万t-CO₂/年で、1件当たりの年間削減見込量は約320t-CO₂/年

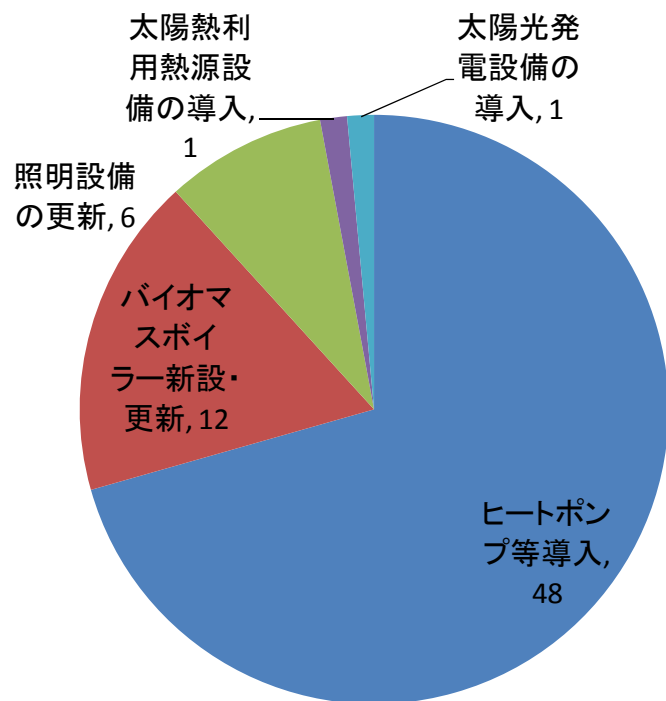
排出削減事業計画申請案件に占める農林漁業者からの申請状況



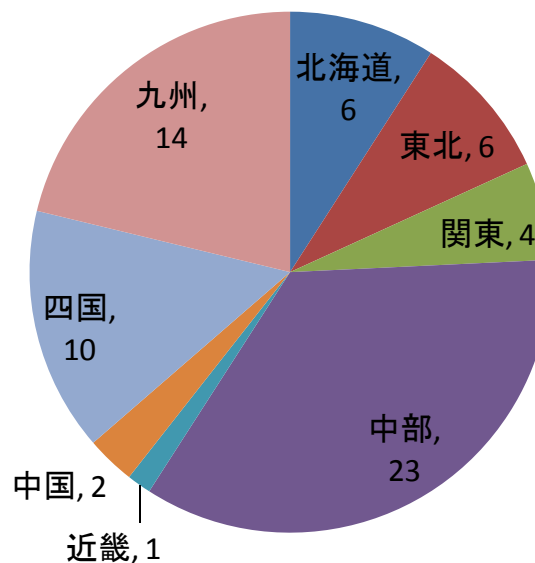
＜国内クレジット制度＞ 農業関係者からの排出削減事業計画申請受付案件 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

- ▶ 導入されている排出削減技術は、ハウスのA重油焚き加温機に替えてヒートポンプ等を導入した案件が最も多く(48件、71%)、次いでバイオマスボイラーを新設・更新した案件(12件、18%)、ハウスの照明設備を白熱電球からLED電球に更新した案件(6件、9%)、太陽熱を利用した熱源設備を導入した案件等となっている
- ▶ 排出削減事業計画を申請した農業関係者の地域分布を見ると、中部が最も多く(23件、35%)、次いで九州(14件、21%)、四国(10件、15%)と続いている
- ▶ 排出削減事業共同実施者(いわゆる国内クレジットの買い手)の業種を見ると、シンクタンク・コンサルティング会社・オフセットプロバイダー(26件、38%)が最も多く、電力会社(25件、37%)、商社(3件、4%)、銀行・リース(3件、4%)と続いている

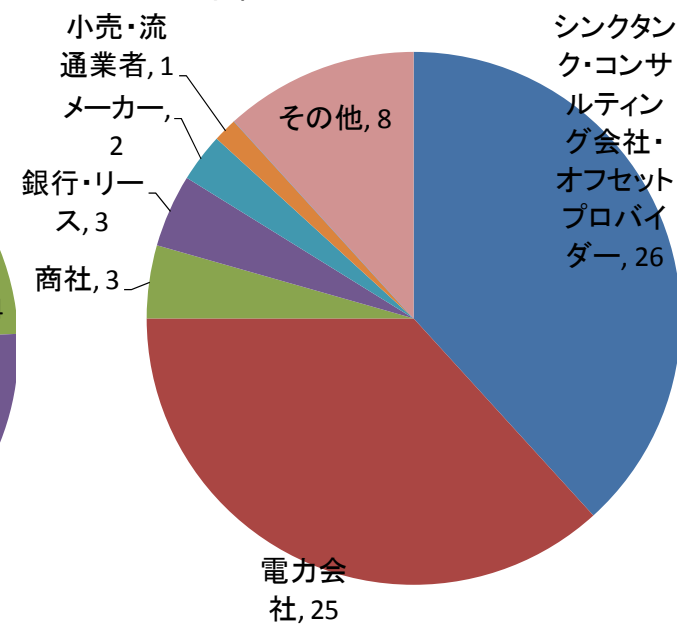
農業関係者からの排出削減事業計画申請案件の削減技術の内容



排出削減事業計画申請農業関係者の地域分布



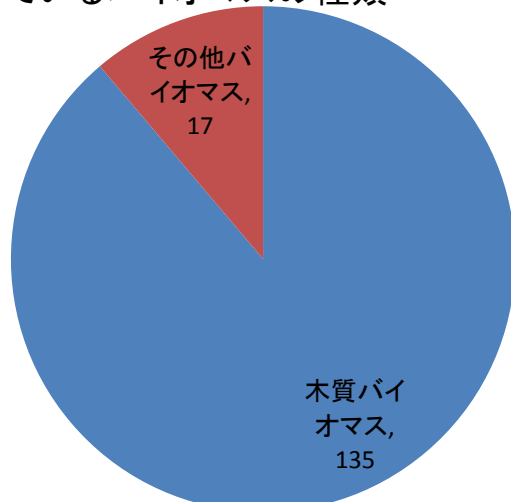
農業関係者からの排出削減事業計画申請案件の国内クレジットの買い手の業種



＜国内クレジット制度＞ バイオマスを利用した排出削減事業計画申請受付案件 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

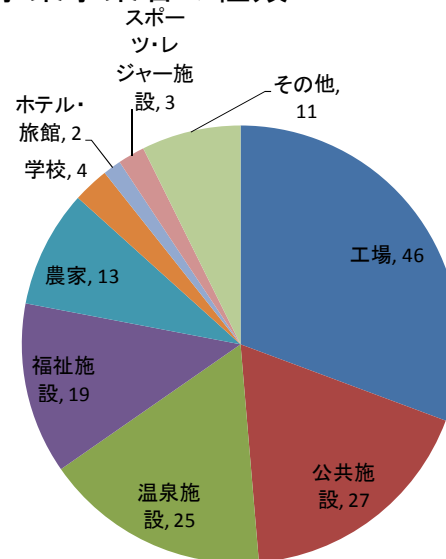
- 国内クレジット制度における排出削減事業計画申請案件908件のうち、バイオマスを利用した排出削減事業計画は150件(全体の17%)
- 利用しているバイオマスの種類を見ると、木質バイオマスを利用した案件(温泉施設や暖房等のボイラーの燃料をA重油から木質バイオマスに転換)135件が最も多い
- 木質バイオマスを利用した案件のうち、林業関係者からの案件を見ると、製材工場等において、木材乾燥用ボイラーの燃料を木質バイオマスに転換した案件(33件)が最も多い
- 排出削減事業者の種類を見ると、工場が最も多く(46件、31%)、次いで公共施設(27件、18%)、温泉施設(25件、17%)、福祉施設(19件、13%)と続いている
- 排出削減事業者の地域分布を見ると、東北が最も多く(35件、23%)、次いで中部(26件、17%)と続いている

バイオマスを利用した排出削減事業計画申請案件における利用しているバイオマスの種類

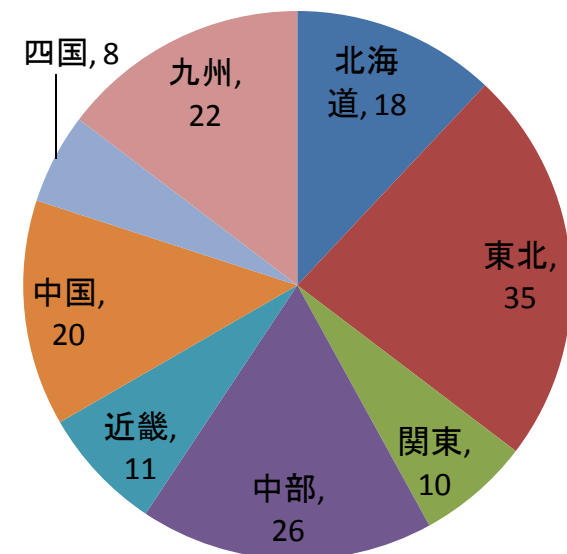


注: 複数種のバイオマスを利用している場合は種類別にカウントしている。

バイオマスを利用した排出削減事業計画申請案件における排出削減事業者の種類



バイオマスを利用した排出削減事業計画申請案件における排出削減事業者の地域分布



＜国内クレジット制度＞ 農林水産業関係者からの排出削減事業計画の承認状況等 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

- 排出削減事業計画申請案件908件のうち、計画承認された案件は663件、国内クレジットが認証された案件は355件、認証された国内クレジットは195, 120t-CO₂
- 農業関係者からの排出削減事業計画申請案件66件のうち、計画承認された案件は48件、国内クレジットが認証された案件は29件、認証された国内クレジットは13, 341t-CO₂
- 林業関係者からの排出削減事業計画申請案件35件のうち、計画承認された案件は31件、国内クレジットが認証された案件は35件、認証された国内クレジットは56, 965t-CO₂
- 水産業関係者からの排出削減事業計画申請案件2件のうち、計画承認された案件は1件、国内クレジットが認証された案件は1件、認証された国内クレジットは646t-CO₂

※ 複数回の国内クレジット認証を受けている案件は、認証された回数分計上している

	全体	農業関係者	林業関係者	水産業関係者
排出削減事業計画申請案件数	908	66	35	2
排出削減事業計画承認案件数	663	48	31	1
国内クレジット認証案件数	355	29	35	1
認証された国内クレジット量 (t-CO ₂)	195,120	13,341	56,965	646

＜国内クレジット制度＞バイオマスを利用した排出削減事業計画の承認状況等

(第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

- ▶ 排出削減事業計画申請案件908件のうち、計画承認された案件は663件、国内クレジットが認証された案件は355件、認証された国内クレジットは195, 120t-CO₂
- ▶ 木質バイオマスを利用した排出削減事業計画申請案件135件のうち、計画承認された案件は121件、国内クレジットが認証された案件は98件、認証された国内クレジットは82, 866t-CO₂
- ▶ 木質バイオマス以外のバイオマスを利用した排出削減事業計画申請案件17件のうち、計画承認された案件は10件、国内クレジットが認証された案件は4件、認証された国内クレジットは1, 655t-CO₂

※ 複数種のバイオマスを利用している場合は種類別にカウントしている

※ 複数回の国内クレジット認証を受けている案件は、認証された回数分計上している

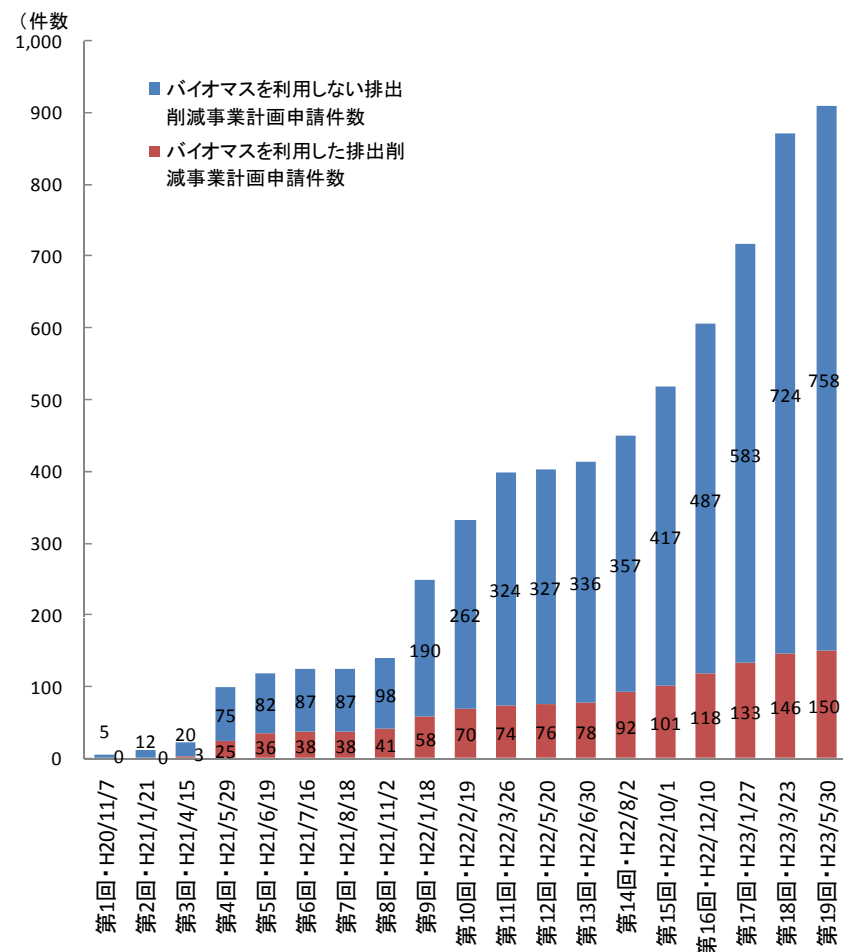
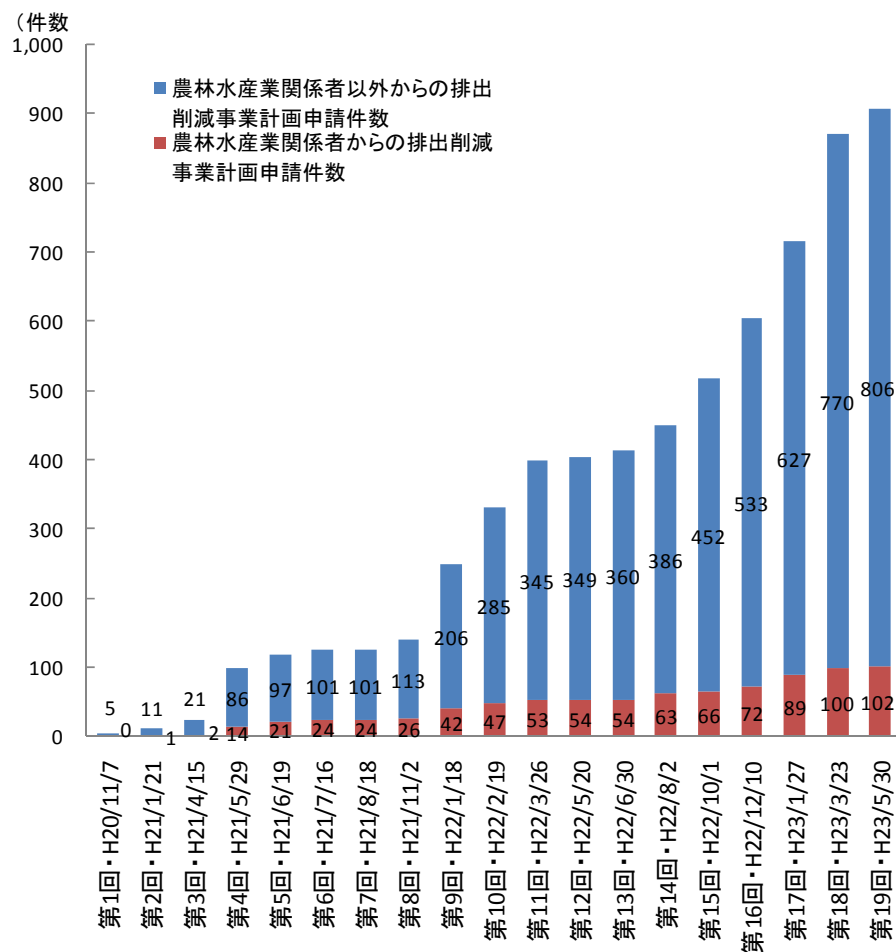
	全体	木質バイオマス利用	その他のバイオマス利用
排出削減事業計画申請案件数	908	135	17
排出削減事業計画承認案件数	663	121	10
国内クレジット認証案件数	355	98	4
認証された国内クレジット量 (t-CO ₂)	195,120	82,866	1,655

<国内クレジット制度>

農林水産業関係者からの案件及びバイオマスを利用した案件の申請件数の推移

(第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

- 国内クレジット制度における排出削減事業計画の累計申請件数は、平成22年度末から4%増加している
- 農林水産業関係者からの累計申請件数は、平成22年度末から2%増加している
- バイオマスを利用した排出削減事業計画の累計申請件数は、平成22年度末から3%増加している



＜国内クレジット制度＞ 排出削減方法論 (第19回国内クレジット認証委員会(平成23年5月30日)時点)

➤ 国内クレジット制度において、現在、49件の排出削減方法論が承認されている。

方法論番号	方法論名称	農業関係者が適用している方法論(件)	方法論番号	方法論名称	農業関係者が適用している方法論(件)
001	ボイラーの更新	7	016	太陽熱を利用した熱源設備の導入	-
001-A	ボイラーの新設	5	016-A	太陽熱を利用した熱源設備の新設	1
002	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新	1	017	小規模水力発電設備の導入	-
002-A	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新(熱回収型ヒートポンプ)	-	018	回収した未利用の廃熱を供給する蓄熱システムの導入	-
002-B	ヒートポンプの導入による熱源機器の新設	-	018-A	回収した未利用の廃熱への熱源の切り換え	-
002-C	ヒートポンプの導入による熱源機器の新設(熱回収型ヒートポンプ)	-	019	雪氷融解水のエネルギー利用	-
003	工業炉の更新	-	020	電気自動車への更新	-
004	空調設備の更新	47	020-A	電気自動車の新規導入	-
004-A	フリークーリングの導入	-	021	自動販売機の更新	-
004-B	バイオマスを燃料とするストーブの新設	-	022	冷蔵・冷凍設備の更新	-
004-C	空調設備の新設	-	022-A	冷蔵・冷凍設備の新設	-
004-D	バイオマスを燃料とするストーブへの更新	-	023	風力発電設備の導入	-
005	間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入	-	024	蓄電池で駆動する船舶への更新	-
006	照明設備の更新	4	025	ポンプ・ファン類の更新	-
006-A	照明設備の新設	2	026	電動式建設機械・産業車両への更新	-
007	コージェネレーションの導入	-	027	工作機械の更新	-
007-A	コージェネレーションの新設	-	028	バイオディーゼル燃料製造設備の導入及び化石燃料からバイオディーゼル燃料への切り換え	-
008	太陽光発電設備の導入	1	029	プレス機械の更新	-
009	温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用	-	030	自家用発電機の更新	-
010	変圧器の更新	-	030-A	バイオマスを燃料とする自家用発電機の新設	-
011	コンセント負荷制御機器の導入	-	031	テレビジョン受信機の更新	-
012	溶融炉におけるコークスからバイオコークスへの切り替え	-	032	射出成形機の更新	-
013	外部の高効率熱源設備を有する事業者からの熱供給への切り替え	-	033	豚への低タンパク配合飼料の給餌	-
014	余剰蒸気活用による小型蒸気発電機の導入	-	034	家畜排せつ物の管理方法の変更	-
015	系統電力受電設備等の増設による自家用発電(発電専用機によるもの)の代替	-			